

# 事業計画書

事業名	Matsudo Tech Lab 先端科学技術振興・啓発事業
団体名	松戸ロボット研究会

事業概要	
小学生から中学生を対象としたロボット制作ワークショップを開催し、興味をもってもらおうことを目指す。また科学技術に関する展示やセミナー、交流会などのイベントも開催し、子どもから大人まで幅広い世代の市民に対してロボットや先端技術に対して「面白い」「もっと知りたい」と興味をもってもらおうことを目指す。	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>松戸市内の公立中学校において、ロボット制作に取り組んでいる科学部は少ない。私たちは市内の公立中学校の科学部でロボット制作の楽しさを知ることができた。学校にある部活や工作機械などの設備に関わらず市内の小学生や中学生に科学技術や先端技術に触れる機会を提供することができたらと考えている。</p> <p>また、松戸市には FAB LAB（3D プリンターやレーザーカッターなどのデジタル工作機械を備えた実験的な市民工房）が存在しないため、その役割を担い、市民の「ものづくりをしたい」「作りたい」という想いを支援する拠点としての機能を果たす。</p> <p>さらに、松戸市内には科学館等、先端技術に直接触れることのできる施設が少ないことから、ロボットや先端技術の振興に寄与する場を設ける。</p>
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. 未来を担う子供たちへロボットの体験会やワークショップを行うことにより先端技術へ興味をもってもらい次世代のエンジニアを生み出すこと。</li> <li>②. 市民の皆様へ科学技術を身近に感じてもらうため。</li> <li>③. 市民の皆様へ FAB LAB として工作機械（3D プリンターや CNC フライス盤など）を使ってものを作れる場所を提供するため。</li> </ol>
事業内容	<p>以下の①②③の内容は、年2回開催する Matsudo Tech LAB 内で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①. 将来を担うこどもたちにロボットのワークショップや技術に触れる体験を提供する。機械・電子・プログラミングなど幅広い分野へ興味を持ってもらう機会にする。当団体が開発した工作キットで行う。</li> <li>②. 子供から大人まで幅広い世代の市民の皆様へ科学技術、ロボットへ触れる機会を提供する。企業の方との連携した、常設展示エリア、LTスペース（プレゼンテーションステージ）なども用意する。</li> <li>③. ものづくり相談スペース、デジタル工作機械ものづくり体験コーナーを設置し、DIY などの身近なものづくりから機械・電子工作の領域まで幅広い世代の市民の作りたいという想いを支援する。当団体の工作機械や電子基板を作る技術を提供する。当イベントでは、体験コーナーのみ参加費を徴収する。また工作機械による加工が当日中に製作が終わらないもの、運搬できない工作機械を使用する必要がある場合は、機械のある当団体の事務所で後日製作し郵送する。その場合は、送料を参加費に含めて徴収する。</li> <li>④. Matsudo Tech LAB の告知を行う。（HP、X、YouTube、Instagram、Quita、ニコニコ動画、Facebook、チラシ、ポスター）などで広報活動を行う。</li> <li>⑤. Matsudo Tech LAB で安全、円滑に進行できるよう前もってワークショッ</li> </ol>

	<p>プ向けロボット工作キットの開発や安全管理体制の確認を行う。</p> <p>2 スケジュール</p>																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2026/4</td> <td>事業の広報、組織体制の確認、活動準備④⑤</td> <td>市民センターのフリースペース 会議室全面 構成員のみ</td> </tr> <tr> <td>2026/5</td> <td>広報、体験会の工作キット開発、検討、参加団体、企業との打ち合わせ④⑤</td> <td>市民センターのフリースペース 構成員</td> </tr> <tr> <td>2026/6</td> <td>広報、開催準備④⑤</td> <td>市民センターのフリースペース 構成員</td> </tr> <tr> <td>2026/7</td> <td>広報、Matsudo Tech Lab 1回開催①②③④⑤</td> <td>松戸市民交流会館すまいるホール 全面 構成員、市民</td> </tr> <tr> <td>2026/9</td> <td>広報、体験会工作キット 開発、検討、参加団体、 企業との打ち合わせ④⑤</td> <td>市民センターのフリースペース 構成員</td> </tr> <tr> <td>2026/10</td> <td>広報、開催準備④⑤</td> <td>市民センターのフリースペース 構成員</td> </tr> <tr> <td>2026/11</td> <td>広報、Matsudo Tech Lab 第2回開催①②③④⑤</td> <td>松戸市民交流会館すまいるホール 全面 構成員、市民</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	2026/4	事業の広報、組織体制の確認、活動準備④⑤	市民センターのフリースペース 会議室全面 構成員のみ	2026/5	広報、体験会の工作キット開発、検討、参加団体、企業との打ち合わせ④⑤	市民センターのフリースペース 構成員	2026/6	広報、開催準備④⑤	市民センターのフリースペース 構成員	2026/7	広報、Matsudo Tech Lab 1回開催①②③④⑤	松戸市民交流会館すまいるホール 全面 構成員、市民	2026/9	広報、体験会工作キット 開発、検討、参加団体、 企業との打ち合わせ④⑤	市民センターのフリースペース 構成員	2026/10	広報、開催準備④⑤	市民センターのフリースペース 構成員	2026/11	広報、Matsudo Tech Lab 第2回開催①②③④⑤	松戸市民交流会館すまいるホール 全面 構成員、市民	
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																								
2026/4	事業の広報、組織体制の確認、活動準備④⑤	市民センターのフリースペース 会議室全面 構成員のみ																								
2026/5	広報、体験会の工作キット開発、検討、参加団体、企業との打ち合わせ④⑤	市民センターのフリースペース 構成員																								
2026/6	広報、開催準備④⑤	市民センターのフリースペース 構成員																								
2026/7	広報、Matsudo Tech Lab 1回開催①②③④⑤	松戸市民交流会館すまいるホール 全面 構成員、市民																								
2026/9	広報、体験会工作キット 開発、検討、参加団体、 企業との打ち合わせ④⑤	市民センターのフリースペース 構成員																								
2026/10	広報、開催準備④⑤	市民センターのフリースペース 構成員																								
2026/11	広報、Matsudo Tech Lab 第2回開催①②③④⑤	松戸市民交流会館すまいるホール 全面 構成員、市民																								
既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアップ 助成のみ)																										
事業従事者数	6人																									
事業の目標	<p>年に2回『Matsudo Tech LAB』を開催すること。</p> <p>① 小中学生対象ワークショップ 1回に10人から20人 後のアンケート 良い評価を7割以上</p> <p>② 幅広い世代の市民対象、科学技術・ロボット展示スペースなど 1回に60人前後 後のアンケート 科学に対する将来への期待7割以上</p> <p>③ 幅広い世代の市民対象、ものづくり支援 1回に約15人前後 後のアンケート 楽しかった、勉強になった7割以上</p>																									
今後の展望	<p>かつては技術大国だった日本のロボット研究・開発は、世界に後れをとっていると言われていた。この状況を打破するため、私たちは松戸市から新たな取り組みを開始したい。ロボットに興味を持ってもらい、自ら手を動かしてものづくりをする子どもたちを増やしたいと考えている。そして、「松戸ロボット研究会」が開催するワークショップを通じて、この地域からロボットに興味を持つ子どもたちをさらに増やし、将来的に日本のロボット技術を牽引する人材を輩出することを目指す。彼らが将来開発するロボットによって、現在日本が直面している人手不足などの様々な社会課題を解決し、より豊かな社会を築いてほしい。また私たちも築いていきたいと思っている。そして将来的には、これらの活動を通じて、松戸市を日本のロボット開発の中心地へと発展させていければと考えている。</p>																									

## 事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	イベント参加費	¥ 18,200	デジタル工作機械ものづくり体験コーナー参加費 3Dプリンター100グラム以内 100mm×100mmまで600円 見積もり15回 フライス加工一回700円 見積もり 6回 当日中に作り終えない制作物 7回分 送料 5000円
	寄付金	¥ 30,080	寄付金
	自己資金の合計額 (A)	¥ 48,280	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
<b>合計額 (C) = (A+B)</b>		<b>¥ 148,280</b>	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 18,800	施設利用料12h×2回 交流会館すまいるホール全面
	印刷製本費	¥ 3,000	チラシ、パンフレット各150部
	通信運搬費	¥ 11,600	イベント告知のためのサイト維持費／一年間 6600円 デジタル工作機械ものづくり体験コーナー 当日中に作り終えない制作物 7回分 送料 5000円
	消耗品費	¥ 114,880	(参加者持ち帰り用) 小中学生向けロボット工作ワークショップの部品 ものづくり支援、FAB LABで使用する材料 基盤 1枚200円を30枚 6000円 超音波距離センサー1個300円を35個 10500円 ミニサーボモーター1個200円 70個14000円 3Dプリンター用フィラメント 1Kg5000円を4個 20000円 フライス盤用板金材料 アルミ 1枚1000円を10枚 10000円 のぼり旗 8000円 スタッフ用Tシャツ 2500円×4人 10000円 横断幕各コーナーに設置 1枚3000円×4枚 イベント用パナースタンド3000円 1枚 プログラミング物体検知ワークショップ用の ウェブカメラ1台5000円 カメラで熱を見てみようワークショップ赤外線カメラ 赤外線カメラ一台4980円 会計盆700円 受付プレート3000円 二画面電卓3000円1台 小銭入れ4000円 領収書700円
<b>対象経費の合計 (D)</b>		<b>¥ 148,280</b>	
その他経費			
	その他経費の合計 (E)	¥ 0	
<b>合計額 (F) = (D+E)</b>		<b>¥ 148,280</b>	

**【チェック項目】**

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。